

1. 「JF 日本語教育スタンダード」の推進 (P.25 参照)

(1) 「JF 日本語教育スタンダード」改訂

「JF 日本語教育スタンダード 2010」およびその「利用者ガイドブック」の第 2 版を発行し、初版とあわせてこれまでにそれぞれ約 6,000 部を配布。ウェブサイトで英語版・韓国語版データを公開。

(2) 「JF 日本語教育スタンダード」関係セミナー等

国内外のセミナー、学会、研究会を通じた紹介・活用推進事業 51 件を実施。

(3) 「JF 日本語教育スタンダード普及活動助成」開始

「JF 日本語教育スタンダード」の普及に資する活動を支援する助成プログラムを開始し、海外の日本語教育学会・教師会等が行う事業 8 件に対し助成を実施。

2. JF 日本語講座 (P.25 参照)

独立行政法人国際協力機構 (JICA) が支援する 5 カ国 (ウクライナ、カザフスタン、ウズベキスタン、モンゴル、ラオス) の日本センターにおいて、JF 日本語講座を開講。JF 海外拠点を含め、26 カ国 29 カ所で JF 日本語講座を実施。

3. 海外の日本語教育状況に関する調査 (P.25 参照)

「2012 年度日本語教育機関調査」を実施。世界 203 カ国・地域における日本語教育に関する情報・データを提供。

4. インターネットを活用した教育ツール (P.26 参照)

(1) WEB 版「エリンが挑戦! にほんごできます。」

年間アクセス数約 550 万件 (2010 年度からの累計アクセス数約 1,360 万件)

(2) 「みんなの教材サイト」

年間アクセス数約 337 万件 (2002 年度からの累計アクセス数約 6,771 万件)

(3) 「まるごと + (まるごとプラス)」

2013 年 2 月一般公開

(4) 「日本語でケアナビ」

年間アクセス数約 75 万件

(5) 「アニメ・マンガの日本語」

年間アクセス数約 285 万件

(6) 「NIHONGOe (にほんごいい) な」

年間アクセス数約 111 万件

5. 日本語能力試験 (P.27 参照)

(1) 第 1 回試験 7 月 1 日:

海外 22 カ国・地域、103 都市で実施し、202,943 人が受験。

(2) 第 2 回試験 12 月 2 日:

海外 61 カ国・地域、201 都市で実施し、246,123 人が受験。

新たな試験実施都市は、第 1 回試験ではホーチミン等 6 都市、第 2 回試験ではヒューストン等 7 都市。

年間合計の海外受験者数は 449,066 人。

6. 日本語専門家の海外派遣 (P.28 参照)

(1) 日本語専門家: 39 カ国 123 ポスト

日本語上級専門家: 26 カ国 38 ポスト

日本語専門家: 30 カ国 64 ポスト

日本語指導助手: 14 カ国 21 ポスト

(2) インターン派遣

日本語教師養成課程を有する国内の大学との連携により、48 大学 358 人の学部生・大学院生に、27 カ国・地域の 107 機関における日本語教育実習 (インターン) の機会を提供。

(3) 米国若手日本語教員 (J-LEAP) 派遣

日米間の文化・人材交流と米国における日本語教育支援を目的とする事業。新規に 10 人を派遣。継続派遣者と合わせ計 23 人が、各地の初中等教育機関でティーチング・アシスタントを務め、現地コミュニティでの日本文化・社会理解促進活動に協力。

7. 日本語教育支援プロジェクト (P.28 参照)

海外拠点および各地の中核的な日本語教育機関とのネットワーク「JF にほんごネットワーク (通称: さくらネットワーク)」のメンバーは、44 カ国 2 地域の 123 機関 (2012 年度末)。21 の海外拠点で実施する事業スキーム 147 件を運用。さらに、26 カ国 2 地域の中核メンバーに対する助成事業として 66 件を支援。

この他に、海外拠点からの支援が届きにくい国・地域において、日本語教育機関・団体が実施する活動 58 カ国 158 件を支援。

8. 海外の教師を対象とした研修 (P.29 参照)

(1) 政策研究大学院大学との連携による大学院教育

日本語教育指導者養成プログラム (修士課程): 4 カ国 4 人、4 カ国 4 人 (継続)

日本語文化プログラム (博士課程): 3 カ国 3 人 (継続)

(2) 海外日本語教師上級研修

教材開発等の課題を有する日本語教師を対象にしたプログラムに 8 カ国 10 人が参加。

(3) 海外日本語教師訪日研修

短期：36カ国・地域 123 人

長期：32カ国 57 人

(国別)

韓国：50 人

中国（大学・中等教育）：58 人

タイ：61 人

フィリピン：22 人

マレーシア：14 人

ハンガリー：5 人

(4) 日系人教師研修

独立行政法人国際協力機構（JICA）より日系人「継承日本語教育研修」の一部を引き継ぎ、外国語としての日本語教育に特化した新規研修を実施。2 カ月間の研修に 12 人が参加。

9. 海外の学習者を対象とした研修 (P.29 参照)

(1) 専門日本語研修（外交官・公務員）

37カ国・地域 39人／8カ月間

日本語学習に加え、官庁、公的機関、大学等教育機関、民間企業等の訪問、関係者との意見交換、さらに、大阪大学大学院国際公共政策研究科との連携講座も実施。

(2) 専門日本語研修（文化・学術専門家）

21カ国 67人／2 または 6 カ月間

日本語学習に加え、文化・学術専門家としての活動に必要なインタビュー・スキル向上のための研修などを実施。

(3) 日本語学習者訪日研修等

大学生：23カ国 83 人

成績優秀者：64カ国 66 人

JF 講座優秀者：20カ国 35 人

高校生：11カ国 31 人

李秀賢氏記念韓国青少年訪日研修：30 人

米国 JET 記念高校生招へい研修：32 人

国内大学連携大学生：25カ国・地域 91 人

大阪府JET来日時研修：4カ国 15 人

10. 経済連携協定に基づく看護師・介護福祉士候補者の日本語教育 (P.29 参照)

国内研修で最大限の効果をあげるための準備段階として、来日前の現地日本語研修を実施。インドネシアでは看護師 48 人、介護福祉士 107 人が、フィリピンでは看護師 65 人、介護福祉士 83 人が、それぞれ 6 カ月間の研修を受講。

11. 受託研修

(1) 21世紀東アジア青少年交流計画（JENESYS）受託事業

東アジア若手日本語教師特別招へい：11カ国 49 人

東アジア日本語移動講座：8カ国 39 人

東アジア日本語履修大学生（夏季）：10カ国 36 人

(2) その他の受託事業

青年日本語教師派遣前研修：1カ国 21 人

ロシア初中等教育日本語教師研修：11 人

香港中文大学大学生訪日研修：10 人

豪ヴィクトリア州高校生訪日研修：22 人

大阪ガス国際交流財団インドネシア人大学生日本語研修：2 人

キャンボン・ベトナム日本語学習者訪日研修：2 人

韓国慶尚南道日本語教師訪日研修：20 人

香港仁濟医院第二中学校日本語コース訪日研修：10 人

ニュージーランド日本語教師訪日研修：7 人

カナダ・マニトバ州高校生訪日研修：8 人

12. 各センターの図書館

日本語国際センター 来館者数：18,798 人

関西国際センター 来館者数：17,341 人